

01 教会ニュース

ただ主の栄光のために～

世界的なリバイリスト、イ・ジェロク牧師が導いた海外連合大聖会の感動を再確認し、まことの信仰が何かを見せてくれる番組紹介。

02 いのちのみことば

神の愛

すべての人が主にあつて変えられるのを待ってください、変えられるまで寛容を尽くしてください、変えられることを信じる神の深い愛。

03 企画特集

光の子ども、チェックリスト！

みことばどおりに行えば、何でも答えられる。自分にはたして光の中に生きているかチェックしてみよう。

支教会11月スケジュール

04 証し

「アトピー性皮膚炎から解放されました」

ふたりの娘のひどかったアトピー性皮膚炎のいやしを通して神の愛を悟り、まことの信仰を持つようになったオーストラリアのグ・ヒャンソ執事の証し。

# 万民ニュース

第156号 2015. 10. 25.

## MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

## とどまることのない聖霊のみわざを宣べ伝える！

### 純粋キリスト教放送GCNの番組「信仰によって歩んできた道」



堂会長イ・ジェロク牧師は神の力を現し、世界を巡って連合聖会を導いた。父なる神の驚くべき力が臨んだ所はどこでも、砕かれた霊とかたくな心が愛によって溶かされ、あらゆる病気と問題が解決され、数えきれないほどの人が改宗するみわざが起きた。(写真左はGCN放送が試験放送を開始し、エンパイアステートビルから電波を打ち上げたとき、夜空に刻まれた光の十字架)

2005年9月1日午前0時、ニューヨークのエンパイアステートビルの送出室。純粋キリスト教放送、GCN放送が開局を控え、オープニング式で初めての電波を打ち上げた。その時、エンパイアステートビル上空に突然光の十字架が現れた。

「驚くべきことです。これは神様がGCN放送を喜んでおられるというしるしです。しるし！」

この日以来、丸10年経ったが、夜空に刻んでくださった十字架の形の光はいまだに聖徒たちの記憶に新しい。

罪と悪がはびこっている終わりの時に、全世界のすべての民にいのちのみことばと神の力を宣べ伝えるために設立されたGCN放送は、絶え間なく発展と跳躍を繰り返して、現在、全世界170余か国をカバーするキリスト教放送に成長した。また2014年12月、IPTVのallah tv882から説教、教養、賛美などを鮮明なHD高画質映像で視聴者に届けている。

このように神が下さった放送宣教のビジョンを大切に、GCN放送はただ信仰と従順によって無から有を創造する神のみわざを体験する番組、いのちある差別化された番組で全世界の視聴者の賛辞を受けている。

さらにGCN放送は「信仰によって歩んできた道」「回想

2」などの新規番組を製作・放送し、視聴者の反応が良い。今年8月初めに初放送された「信仰によって歩んできた道」はただ信仰によって父なる神だけにより頼んできた世界的なリバイリストであり万民中央教会の堂会長であるイ・ジェロク牧師の働きを振り返り、海外連合大聖会の感動をもう一度感じられるように製作された。

イ・ジェロク牧師は2000年から2010年まで、ウガンダ、日本、パキスタン、ケニア、フィリピン、ホンジュラス、インド、ロシア、ドイツ、ペルー、コンゴ民主共和国、アメリカ、イスラエル、エストニアで計14回の大連合聖会を導いた。

特にウガンダ連合大聖会では、エイズをはじめいろいろな病気がいやされて、世界的なニュース専門チャンネルCNNに報道された。イスラム教国パキスタンで開かれた連合大聖会の時は、政府の集会許可がキャンセルになって会場が封鎖されたが、神が備えておかれた人物を通して劇的に聖会が開かれた。

また、マリーナビーチで開催されたインド連合大聖会(写真下段)は延べ人数300万人以上が参加し、最大・最多・最高の記録を立てた。エルサレム国際コンベンションセンターで開かれたイスラエル連合大聖会は、ユダヤ教の国から放送で全世界220余か国にイエス・キリストが私たちの救い主であることを宣べ伝えた画期的な出来事

だった。

イ・ジェロク牧師はイスラム教圏、ヒンズー教圏だけでなく、ユダヤ教の国とキリスト教が低迷しているヨーロッパでも、聖会で炎のような聖霊のみわざを現わした。

聖会の開催を妨げる勢力もあったが、イ・ジェロク牧師が講壇に上がって創造主の神とイエス・キリストが私たちの救い主であることを大胆に宣べ伝えた後、いやしの祈りをすると、そのすべての迫害と不信が一時になくなった。彼の祈りを通して現れる神の力あるわざは彼の説教と聖書の記述が真実であることを確かなものとしたからである。

「信仰によって歩んできた道」はイ・ジェロク牧師の宣教報告とともに聖会の様子が映像で紹介され、どの聖会でも神が施してくださった驚くべきみわざとそこに込められた細やかな摂理を一つ一つ心に刻めるように構成されている。

神のみこころならば現実を見ない信仰の行軍、その信仰を喜ばれ、驚くべき力を見せてくださった神のみわざを通して、まことの信仰とは何なのかが悟れるだろう。毎週日午前0時に生放送され、GCN放送ホームページ(www.gcntv.org)とモバイル(m.gcntv.org)、allah tv882で視聴できる。計46部で製作される予定だ。

# 神の愛



堂会長イ・ジェロク牧師

「私たちは、  
私たちに対する神の愛を知り、  
また信じています。神は愛です。  
愛のうちにいる者は  
神のうちにおり、  
神もその人のうちに  
おられます。」  
(第一ヨハネ4:16)

神の愛のうちにいる人は恐れや乏しいことがない。知識や財物、環境など、人に言えるほどのものが全くなくても、神を信じて完全により頼むなら、すべてを満たしてくださり、将来の道に責任を負ってくださるからだ。

誰でも神の戒めを守って真理の中に生きていけば、神の愛に包まれて答えと祝福が体験できる。はたして神の愛とは具体的にどんな愛だろうか？

## 1. 主にあって毎日変えられるのを待つてくださる愛である

ルカの福音書15章を読むと、父の待つ心とはどんなものなのか知ることができる。ある人にふたりの息子がいた。ひとりには財産をあらかじめもらって遠い国に旅立った。成功する夢とビジョンがあったが、現実には冷酷だった。結局、世の誘惑に落ちて放蕩して財産を使い果たし、

大ききんまで起こり、豚の餌さえもらえない身の上になった。

その時はじめて息子は父のことを思い出す。「父のところには、パンのあり余っている雇い人が大ぜいいるではないか。それなのに、私はここで、飢え死にしそうだ。」と言い、家へ帰ろうと思った。もちろん父が赦して受け入れてくれるだろうという期待はできなかった。物乞いと変わらない姿で帰ってきた自分を叱って、追い出してしまうかもしれないし、自分のことを忘れていてかもしれない。

だが、父の心は息子の考えていたとは全く違っていた。せがまれて財産をやったが、息子が家を出た後、父は心安らかに過ごした日がなかった。毎日、息子が心配で、暇さえあれば町の外へ通じる道を眺めながら待っていた。どれほど過ちを犯したのかが問題ではなく、愛する子なのであきらめられないのである。過ちを叱ろうと待っているのではなく、古くて汚い服を脱がせて、体を洗わせてから最も良いもので装わせて祝宴をするために待っているのだ。

それなら、天地万物を創造してご自身のかたちに人を造られた神の心はどうだろうか？ すべての人が信仰によってイエス・キリストを受け入れ、聖霊を受けて真理に変えられるのを待ち、結局ご自分の心をわかってくれる時が来るのを待つておられる。また、永遠に愛を分かち合える真実の子どもになれば、最も美しい天国である新しいエルサレムに入れようと備えておかれたのだ。創造主なる神の知恵と力が満ちている天国の栄光を、愛する子どもたちとともに永遠に味わおうと、今も待つておられるのである。

## 2. 主にあって変えられるまで寛容を尽くしてくださる愛である

「待ち」には切なる望みが込められている。この望みが切実なほど寛容を尽くすことができる。寛容を尽くすとは、ただ座って望むとおりになるのをひたすら待つていてのではない。そのための労苦と努力が伴い、果たすべきことがある。

愛なる神も、人間を耕作しながら多くの悲しみと苦しみの時間に耐えてこられた。ある聖徒は旧約聖書のイスラエルの民のことを読んで嘆いたという。神の偉大な力を見ながらもいつもつぶやき、偶像を拝んで罪を犯すのが理解できなかったのである。するとそばにいた人が「それはイスラエルの民だけでなく、私た

ちの変えられる前の姿です」と言ったら、何も言えなくなったという。

そのとおりだ。イスラエルの民だけでなく、人が真理に変えられる前は、いくら大きい体験をして恵みを受けても、神の愛を簡単に捨ててしまう。神をほめたたえていても、翌日にはつぶやく。大変な事があればすぐ恨んで、祈りがすみやかにかなえられないなら、受けた恵みまでこぼしてしまう。

もし以前より聖霊に満たされなくなると、世が目映り始めたなら、まず自分の信仰を顧みなければならない。罪を捨てていく熱心が冷めてはいないのか、心を尽くしてささげていた礼拝と忠実な仕えが形式的なものに変わってしまったのではないのか、チェックしなければならない。

ところが、多くの人がこのような場合にするだろうか？自分を顧みるよりは、何かと人のせい、環境のせいにしてしまう。とても直接恨みはできないが、それとなく神に対してさびしい心を抱いたりする。このような時は、悪い者の話に乗りがちになり、惑わす言葉を信じたくなくなる。

すぐ目の前の一つが自分の考えに合わなければ、以前百の神の奇跡を体験していても、全く忘れてしまい、覚えていても偶然のことにしてしまう。これがまさに移り変わる肉の属性である。

聖書を読むと、時には愛なる神がノアの洪水やソドムとゴモラのさばきのように、公義を行わなければならない時もある。世でも口蹄疫や鳥インフルエンザにかかれば生かす方法がないように、霊的にも、罪と悪が限界に至ると、これ以上機会を与えることができなくなる。

だがこの時にも、神は「機会をたくさん与えたが、公義があるから仕方ないだろう」と簡単にさばかれるのではない。親が子どもをたたくとき、親の心にはアザができる。まして滅びに向かっている人の子らをご覧になる神の悲しみはどうだろうか。

〈ローマ8:26〉に「御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてください。」とある。聖徒が弱くて光の中に生きられないとき、心のうちにおられる御霊ご自身も言いようもない深いうめきで痛みを感じら

れる。

このように罪によってサタンに訴えられていろいろな試練や患難にあう子どもたちをご覧になると、神はご一緒に心を痛められた。数千年の歳月の間、神のお心にはこのような痛みが一つ、二つと積み重ねられてきた。そのすべての痛みを耐え忍びながらも寛容を尽くされた父なる神の愛があったので、救われた人が毎日加わり、数えきれない天国の実が出て来ているのである(第二ペテロ3:15)。

## 3. 主にあって変えられることを信じてくださる愛である

寛容を尽くして待てる理由は、望んでいるとおりにになると信じるからだ。農夫が豊かな実を刈り取ることを信じなければ、種を蒔くことはできない。親は子が立派に成長することを信じるので生む。一生貯めた全財産を事業に投資するのなら、確かにその事業が成功することを信じるからである。だめになると思うなら、すべてをつぎ込むはずがないのだ。

神がルシファーの裏切りとアダムの不従順を耐え忍ばれ、ひとり子を十字架に渡すまで人間耕作の摂理を成し遂げていかれるのも、私たちが主にあって変えられることを信じるからである。イエス様がこの地上におられた時も、弟子たちはあれこれ弱い姿があったが、やがて彼らを変えられて殉教の使命まで十分に果たすことを信じたので、喜んで十字架を負われたのだ。

愛なる主は今も私たちが変えられることを信じるので、私たちの天国の家を備えて、そこで会う時まで、召し上がることも宴会を楽しむこともなさらず、絶えず私たちのためにとりなしの祈りをささげておられる。

愛する聖徒の皆さん、

神と主は絶えず炎のような御目で皆さんを守り、神の真実の子どもに変えられることを信じて期待しておられる。そして、多くの人が最も美しい天国である新しいエルサレムの主人公として出て来ることを疑わずに待つておられるのだ。

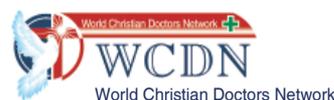
やがて主が再び来られる時まで、皆さんに向けられた神の期待と望み、またその待ちは変わらないはずであり、必ず成就なさるだろう。この愛を覚えて神の真実の子どもとして出て来て、終わりの時、神の摂理を十分に現されるよう、主の御名によって祈る。



Tel: 82-2-818-7063  
Fax: 82-2-818-7048  
www.manmin.org  
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107  
Fax: 82-2-813-7107  
www.gcnetv.org  
e-mail: webmaster@gcnetv.org



Tel: 82-2-818-7039  
Fax: 82-2-830-5239  
www.wcdn.org  
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク  
編集者: ビン・グンソン  
www.manmin.org/Japanese  
www.manminnews.com  
編集発行: 万民中央教会  
〒152-848 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29  
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

光である神の子どもチェックリスト三つ

# 自分はどれだけ光の中に生きているのか？

<第一ヨハネ1:5>に「神は光であって、神のうちには暗いところが少しもない。」とある。また、ことばはすなわち神(ヨハネ1:1)であるので、聖書に記されていることばを守り行うことがまさに光の中に生きているということだ。神のことばどおりに行って完全に光の中にとどまれば、求めるものは何でもいただくことができる(第一ヨハネ3:21-22)。はたして自分はどれだけ光の中に生きているのか、三つの項目を通して自らチェックしてみよう。

## □ 不平を言って不満を持ってはいないか？

多くの人が自分の願いどおりに事が解決されなかったり、困った事が起これば、しばしば他人のせいにして、環境のせいにする。しかし、祝福されるのは自分自身にかかっている。さらに神の子どもならば、生死禍福をつかさどられる父なる神の愛と祝福のうちに生きていける。本当に父なる神を信じるなら、聖書に記されていることばをそのまま信じて聞き従うからだ(出エジプト15:26;申命記28章)。ところで、神を信じない人々はもちろん、信じると言いつつも苦しみの中に生きている人々がいる。これは神のことばと反対である、真理でないことを行っているからだ。憎んで、気を悪くして、怒って、ひそひそ話をして、自分の利益を求めるなど、神のことばに聞き従わないのだ。それなの

に自分に近づいた困難を顧みるところか、すべてに不平を言って不満を持ち、恨むなら、光の中に生きているのだろうか？

光の子どもならば、小さいこと一つにも感謝と喜びをもってして、相手を理解して仕えるべきなのに、相手が気に障って、人の過ちを伝えはしなかったのか顧みてみよう。いくら正しいことを言ったようでも、感情を害したまま不平を言っているなら、自分の中に暗いところがあるという証拠だということ認めなければならない。心の良い人はいくら困難な状況でも、間違ったことは自分のせいにして、何としてでも感謝して生きようとする。まして光である神の子どもならば、不平を捨てて、心からすべてのことに感謝して喜ばなければならない。このような心と口になれば、敵である悪魔・サタンが退いて、神の恵みが臨む。

相手を理解して、喜びと感謝をもって忠実に仕えるとき、教会の中でもリバイバルと祝福の実が結ばれて、各自の行いと労苦が答えと天国の報いとして与えられる。

## □ 霊的な秩序に従っているのか？

霊的な秩序に従うということは、何より神に従うということであり、神のことばに聞き従うことだ。神は全知全能であるだけでなく、私たちが造って祝福された霊の父であられる。したがって、神の子どもが神に仕えないで、とんでもないことに人が造った偶像に仕えたり、神のことばに逆らって自分の思いのままに生きていくなら、これは霊的な秩序を破ることだ。世でも法と秩序に従わなければ処罰されるように、霊的にも霊の世界の法

によって神のことばに聞き従わなければ、敵である悪魔・サタンに訴えられて、試練や患難にあう。したがって、神のことばに基づいて霊的な秩序に従うだけでなく、教会がリバイバルして祝福されるためにも、必ず霊的な秩序を追い求めて神に喜ばなければならない。

真理である神のことばならば、小さい者が言ったとしても聞き従うべきだし、完全に真理にあって御霊のきずなによって一致しなければならない。務めを前に出して自分の意見に従うことに固執して肉的な秩序を押し出したり、霊的に先んじているからといって肉的な秩序を無視したり、礼儀に反することもあってはならないだろう。

このようにすべてにおいてどんなことが神のことばに聞き従うことであり、主のお心にかなうかを悟って、信仰の父アブラハムのように完全に聞き従わなければならない。

## □ 霊の愛で一つになろうと努力しているのか？

人は愛すると言いつつも自分の心に合わなければ癩癩を起こして争い、そうするうちに愛が冷めれば裏切ったりもする。男女間の愛は言うまでもなく、親と子、兄弟間の愛も、自分にとって問題になるなら変わって、互いに背を向けるのが見られる。そうしながらも自分の過ちを認めるより相手のせいにして、相手の過ちと欠けているところだけを考える。しかし、霊の愛はそうではない。本当に光の中にとどまっていれば、相手の過ちと汚れを見て悪い感情を抱くのではなく、互いの欠けているところを覆って、我慢して、変えられることを信じて相手の力になってあげる。ひょっとして自分の心に合わないことでも、相手の立場で理解して平和をつくらうとし、またつくっていく。自分はずらなくても相手を楽しませてあげて、たとえ自分は持っていないでも、相手が持っているのを見

れば幸せに思う。

また、相手のために喜んで犠牲になることができ、先に低くなって仕えるが、自分を愛してくれる幾人かだけでなく、誰にでも仕えて愛する。これがまさに光の中にとどまる生き方であり、神に何でも答えていただける秘訣なのだ。ひょっとして使命を果たすために熱心に働いていても、自分の労苦と功績を認められようとしていたり、真理を聞いて知っているからといって「私が正しい」と主張して、平和を壊して礼儀に反することをやるなら、それは愛でもなく、光の中を歩むことでもない。主にいただいた恵みと愛を心から悟って、役に立たないしもべの心で与えられた使命を果たし、すべての人に仕えるが、感謝と喜び、信仰と希望、愛をもって忠実に仕えてこそ、光の中にとどまる生き方と言える。このように霊の愛で一つになって光の中にとどまれば、敵である悪魔・サタンが働けない。全知全能の神が守ってくださるので、家庭と職場、事業の場に祝福があふれるのだ。もし光の中に生きていたのにサタンが働いたとすれば、それは神が祝福を下さるためであることを知るべきだろう。この時ただ喜んで感謝して祈るなら、神がすべてのことを働かせて益としてくださる。

### 11月支教会スケジュール

11月22日(日)	大阪万民教会	リバイバル聖会(講師:キム・マルコ牧師)	11月29日(日)	舞鶴万民教会	リバイバル聖会(講師:キム・モニカ牧師)
11月25日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳 承吉牧師)	11月29日(日)	名古屋万民教会	癒しの集會(講師:時國みや子牧師)
11月25日(水)	松本万民教会	リバイバルいやし集會(講師:伊藤正明牧師)	11月29日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(講師:崔ピョンラン牧師)

# 「ふたりの娘のアトピー性皮膚炎が いやされて幸せです！」

グ・ヒャンソ執事(47歳、オーストラリア)

万民中央教会を知ったのは2007年3月、私が母に会いに韓国へ行った時です。母は父が亡くなった後、毎夜悪霊に苦しめられ、夢で蛇を見て苦しんでいました。けれど、万民中央教会に通いながら2008年にこのすべての症状がなくなつて、幸せな心で信仰生活をしています。

私は韓国にいる一か月間、母と一緒に教会に通って登録しました。オーストラリアに帰った後は、堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教CDを聞いて信仰を持ち始めました。2008年初めからはインターネット礼拝をささげてきました。

## 下の娘ルビー、夢の中で祈りを受けた後、顔がきれいになる

2010年5月、1歳になったばかりの娘ルビーがアトピー性皮膚炎になりました。初めは顔に少し出ているのですが、ある瞬間全身に広がって、かくから朝起きると全身が血だらけになっていました。病院に二度入院したこともありましたが、よくなりませんでした。それでも堂会長先生のいやしの祈りを受ければ、すぐじくじくが乾いたのですが、病院ではそんなこともありませんでした。

私はインターネット礼拝を通して堂会長先生の神の力ある働きを見て聞いたので、神様にいやされたいと思いました。それで神様に喜ばれようと、2011年からルビーと一緒に教会の新聞「万民ニュース」を毎月800部ずつ隣人に渡し、その当時経営していたレストランに海外聖会のDVD映像と「万民ニュース」を置いて神の力を伝えました。

2012年12月末、夢で堂会長先生がルビーを呼ばれると、祈ってくださいました。その夢を見た後、あつという間に赤かったルビーの顔が傷跡もなくきれいになったのです。ところが、体はいやされないで、それ以上悪くならなかったただけでした。昼間はかかないから肌が乾いていましたが、夜はかいてまた血だらけになるという日々の繰り返しでした。私はルビーの顔があつという間にいやされるのを見たので、神様が働かれれば一瞬のうちにもいやされると信じて、さらに切に神様にすがりました。

## 上の娘アラ、みことばに聞き従うと次第によくなる

悪いことは重なるもので、2012年末からは上の娘アラまでアトピー性皮膚炎がひどくなりました。アラは小さい時、腕と足の後ろに若干のアトピーがありました。突然あご

2014年からは変わってきました。こんな状態では大学に行けないと思って、インターネットでダニエル徹夜祈禱会に参加して祈りながら世のものを断ち切るほど、肌も良くなりました。けれど、世のものに接すれば直ちにまた症状が現れるという体験をしながら、上の娘は自ら神様の前に祈ろうと努力しました。

2014年3月、私はインターネットで「2回連続特別ダニエル徹夜祈禱会」に参加して、三日断食を七度しながらふたりの娘のいやしのために、私の心にある真理でないものを捨てるために、切に祈りました。その年7月、ふたりの娘と一緒に韓国に行つて、堂会長先生に祈りを受けた後は、子どもたちが自らみことばの中に生きようとさらに努力しました。

## 信仰によっていやされようと韓国万民中央教会に行くと直ちにいやしのみわざが現れ

2015年6月、私はふたりの娘と一緒に韓国へ行きました。6月末にあった「機関長教育」と8月初めに開かれた「万民夏のキャンプ」に参加するためでした。ところが、韓国に到着してから娘のふたりとも驚くほどよくなったのです。

下の娘ルビーはからだのかゆみがなくなって、患部のじくじくが乾いて固まり、かさぶたができる、いつの間にかかさぶたまではがれたのです。上の娘アラもかゆみがなくなって肌が良くなり、前よりやわらかくなったし、傷もほとんどなくなりました。半袖に短いスカートもはけるようになって、とても幸せそうです。

このようにふたりの娘のアトピー性皮膚炎をいやしてくださるまで導いてこられた神様の深い愛を考えると、すべてが感謝だけです。何より私は祈る人になったし、説教を喜んで聞いて、信仰によって行える人になりました。耐え忍んで過ごしているうちに神様の前にへりくだって、周りの人たちをもっと理解できるようになりました。また良い美しい心を慕うようになったし、天国の望みで聖霊に満たされた信仰生活をしています。ハレルヤ！

ふたりの娘はアトピー性皮膚炎で苦労しましたが、かえって神様の愛を感じて感謝です。下の娘は今まで風邪薬を一度ものまないで健康に育ったし、上の娘は神様が直接タッチしてくださる愛を悟ったからです。子どもたちもまことの人生の価値を感じていくのですから、どんなに感謝でしょうか。

このように私の心に触れてくださり、信仰によって勝利できるように、いつも慰めと力を下さる三位一体の神様にすべての感謝と栄光をお帰しし、これからはオーストラリアの魂に私が見つけた神様の愛と福音を伝えたいです。



▲アトピー性皮膚炎で苦しんでいた娘ルビー(写真左)とアラ(右)は神の力ある祈りでいやされて健康に幸せに過ごしている。

の周りから始まって全身に広がったのです。おしゃれをしたい盛りの18歳で、暑い日にも長袖と長いスカートで、顔を隠したまま歩かなければなりませんでした。顔のかゆみがひどくて、手でしょっちゅうこするから眉毛が抜けて、人と顔を合わすのがいやで学校にも行かず、長い間家で過ごさなければならなかったのです。

それでも相変わらず夜ふかして小説を読んで、映画を見て、世のものを断ち切れず、祈らなかった上の娘が、

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会  
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4  
T) 0265-56-8286  
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会  
〒465-0014 名古屋市長東区上菅 1-916  
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会  
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4  
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会  
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41  
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会  
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15  
T) 072-220-5289  
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会  
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23  
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会  
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F  
T) 03-3809-3326  
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会  
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343  
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会  
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138  
T) 0773-75-5656  
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会  
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206  
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト東京万民教会  
(東京万民宣教センター)  
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13  
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会  
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号  
T) 098-988-9472